

北中物語

学びを紡ぎ 夢を叶える 北中



むらさき薫る

わが校旗

かかげて進む

この誇り

北中HP
QRコード



TEL 048 (952) 5281

FAX 048 (952) 4261

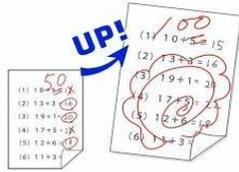
～「何とかなる！」 が合言葉～

×を○にする

校長 広木 友和

「平均点98.8点(4,248点÷43人)」、ある数学のテストのクラス平均点です。

私が初任者として勤務を始めた中学校では、毎年1月に、全校でクラス対抗計算力コンテストという、学習イベントを実施していました。小学4年生の算数から中学1年生の数学で学ぶ一次方程式までの計算問題50問を、中1から中3まで、すべてのクラスが、同じ問題でクラス平均点を競っていました。コンテストはまず、12月初旬にプレテストを行い(この時点でクラス平均点は、中1で65点、中3で85点程)、1月の本番は同じパターンの問題(数字や文字が違うだけ)で競います。冬休みを挟むおよそ1か月半の間、放課後の助け合い学習や冬休みの補習で、×になった問題を解き方がわかるまで、解けるようになるまで、先生や先生役の友達に何回も、何回も質問したり、教えてもらったりする二人学びで、実力をアップさせていきます。冒頭のクラス平均点は、全校25クラスの中で、優勝した1年8組のクラス平均点です。(3年生のクラスが優勝するとは限らないのが、このコンテストの面白いところでもありました)



優勝した1年8組は教職経験が15年程のベテラン教師、保健体育担当のS先生のクラスでした。S先生の指導の徹底ぶりは、そのクラスの副担任でその場を見ていた私には、目から鱗でした。数学が苦手な生徒と数学が得意な生徒でペアを組ませ、想像を超える二人学びの徹底です。途中、何回教えてもらってもできない自分にいら立ち、半べその生徒もいましたが、そこで生活指導では厳しさが評判のS先生の出番です。学びの場では攻めず、叱らず、静かに「次はできるよ」と諭すように優しく言葉をかけるのです。そこで多くの生徒に「できるまでやるぞ!」という気持ちが育まれていく様子が、生徒の目つきや態度で感じることができました。(当時の私には考えられない「魔法の言葉」でした)同じ問題を解いた回数は、どのクラスの生徒よりも多かったことも記憶しています。

今学期、本校は、「×になった問題を○にする」取組を、教科指導やクラスで充実させています。通常のテストは、計算力コンテストのように、すべての生徒が100点を目指す必要はないと思います。今の自分の実力を鑑み、80点の生徒も30点の生徒も、次に同じ問題のテストを受けたら、まず、10点アップさせる取組を徹底するのです。そのために、×になった問題の“仕分け”が必要になります。×になった問題のうち、やり方を教わったり、繰り返し勉強すればできそうな問題を4、5題見つけ(難しい問題は“捨てる決断、も大切)、できるようなるまで徹底して、二人学びや一人学びを続けるのです。10点だったら必ずアップできますから…

自分の実力を知り、自分なりのやり方で、出来なかったことを出来るようにしようとする(×を○にする)想いや実践、充実した生き方には不可欠のようです。

2月の主な予定

日にち	曜日	学校行事等
2	金	食育指導訪問(あじさい学級) 第24回5学テスト(5学日程)
6	火	入学願書等提出期間(千葉)
7	水	入学願書等提出期間(埼玉郵送・千葉)
8	木	入学願書等提出期間(埼玉・千葉) 第25回5学テスト(5学日程)
9	金	入学願書等提出期間(埼玉) 生徒集会(委員会報告) 特別日程 第3回三郷市プレゼンテーションコンテスト
11	日	祝日 建国記念の日 みさとシティハーフマラソン
12	月	振替休日
13	火	3年生期末テスト1日目(テスト日程) 3年生のみ短縮5時間 1年生実力テスト 木曜時間割
14	水	後期第4回専門委員会(1・2年) 特別日程 志願先変更期間(埼玉・千葉)
15	木	新入生説明会 志願先変更期間(埼玉・千葉) 短縮5時間 月12453
16	金	3年生期末テスト2日目(テスト日程) 3年生のみ短縮4時間 2年生・東京文化調査 1・2年生期末テスト前諸活動停止期間(～22日朝)
18	日	第3回英検2次(会場は北中ではありません)
19	月	職員会議
20	火	学力検査(千葉) 第26回5学テスト(5学日程) 木曜時間割
21	水	1・2年生期末テスト1日目(テスト日程) 1・2年生短縮4時間 3年生短縮2時間 学力検査(埼玉) 学力検査等(千葉)
22	木	実技検査等(埼玉) 全学年短縮4時間 1・2年生期末テスト2日目(テスト日程)
23	金	祝日 天皇誕生日 ライオンズ善行賞表彰式
26	月	3年生短縮4時間(～28日)
29	木	◎◎卒業を祝う会

『地域の中の学校』であることの意義 ～2年生職場体験学習・事業所アンケートより～

11月に行った、職場体験学習でお世話になった事業所の皆様から、アンケートのご返信をいただきました。2年生のみなさんが3日間いかに頑張っていたか、地域の事業所の皆様がどのようなお気持ちで今回の取組にご協力いただいていたか、よく分かりました。『地域の中の学校』という言葉が使われるようになってだいぶ時間が経ちましたが、地域の皆様や保護者の皆様の御理解や御協力があったからこそ、様々な学校教育が成り立っているということについて、改めて感じました。

今回は、いただいた事業所アンケートの一部を紹介させていただきます。

ちくみ幼稚園様「この度の職場体験での様子としては、基本的に生徒の皆さんは積極的に園児に遊びを促し、コミュニケーションをとっていました。最終日の朝、幼稚園の先生と保育士の違いや先生としての意識など話をさせていただきました。作成された新聞を拝見し、子どもと関わる以外の仕事の部分も少し理解していただけたのではないかと思います。このような体験を通して、1人でも多く「教師」という職業を目指してほしいと願います。」

くみ動物病院様「皆さん動物が好きな方々で、とても熱心にみていたので、このくらい興味ある仕事を体験してもらえるのは意義があるのではないかと思います。将来に役立つとうれしいです。」

(株)幸楽苑三郷中央店様「この度は、とても心のこもったお礼状と、詳しく書かれた新聞をくださり、ありがとうございました。3人にとって、とても有意義な体験だったようで安心しました。また、私達には無いような柔軟なアイデアを頂いたりして、とても勉強になりました。」

株式会社田中屋様「今後も地域貢献の一環として、仕事を通じて子供達にさまざまな体験を伝えていきたいと思っています。」

1年生のみなさんは、今から約9か月後に、職場体験学習を行う予定です。今後さらに多くを学び、今回の2年生以上に取組を通じて成長していきましょう。

不審者対応避難訓練

1月9日(火)に不審者対応の避難訓練を行いました。不審者から身を守ることで一番大切なことは距離をとることです。みんなで机や椅子で入り口にバリケードをつくり、教室内への侵入を防ぐ訓練を行いました。



スキー教室

1月14日(日)～16日(火)まで、1年生スキー教室を新潟県南魚沼ムイカスノーリゾートにて実施しました。広大な景色に感動しながら、スキーという運動の特性を味わい、級友の新たなよさに気づきながら、たくさんの学びがありました。帰りは大雪による交通網ダウンが心配されましたが、宿の方のご厚意による水や軽食の準備など、人の温かみにもふれた貴重な経験となりました。



読書フェスティバル

1月26日(金)に三郷市鷹野文化センターにて第16回読書フェスティバルが開催され、本校1年生が全体の司会進行および家読うぶんの受賞で活躍しました。みなさんも沢山の出会いを楽しんでくださいね。



学校運営協議会

1月25日(木)に学校運営協議会を開催しました。委員のみなさまに授業を見ていただいた後、今年度の学校運営や来年度の学校経営についての様々なご意見と生徒の様子についてお褒めの言葉を沢山いただきました。



校則検討全校集会

1月24日(水)に、北中の校則見直しに関する全校集会を行いました。体育館での実施予定でしたが、感染症拡大防止等のため急遽オンライン集会としました。主に髪型に関する確認事項でしたが、今後の北中や自分の生活のあり方について真剣に向き合う機会となり、有意義な時間でした。生徒の代表である生徒会から全校生徒へ呼びかける場面が特に印象的でした。



校長面接

1月から2年生の校長面接が始まりました。限られた時間の中でも「将来の夢や目標」、「どんな3年生になりたいか」など、自分の思いや考えをしっかりと答えています。緊張しながら待機している2年生の姿も新鮮です。

